



V-ONU 遠隔制御ソフト

WPV03

セットアップマニュアル

第5版

2025年10月03日

DXアンテナ株式会社

他社製品名・商標に関する表記

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ Microsoft®Windows10 は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
- ・ Windows10 の正式名称は、Windows®10 です。

その他の製品名・会社名等はすべて各社の商標または登録商標です。

本文書においては、体裁上の都合により製品名の表記において商標登録表示、その他の商標表示を省略している場合があります。

V-ONU 遠隔制御ソフト WPV03 Ver1.04

セットアップマニュアル

第 5 版

Copyright © 2021 DX ANTENNA CO., LTD. All Rights Reserved.

はじめに

本書は、WPV03（V-ONU 遠隔制御ソフト）のセットアップ手順書です。

本書中では、各用品を以下のように表記しております。各用品については、下記の通り読みかえて下さい。

| 本書記載の用語 | 用語の説明 |
|---------|--------------------------------|
| WPV03 | V-ONU 遠隔制御ソフト |
| V-ONU | 放送用光加入者端末装置 |
| VMware | 仮想化ソフトウェア |
| ホスト OS | パーソナルコンピュータに投入されている Windows OS |
| ゲスト OS | VMware上で起動させるOS (WPV03ソフトウェア) |

準備物

- インターネットへの接続環境

インストール時にはインターネットに接続して実施します。

- 固定の IP アドレス 2 つ (同一セグメント)

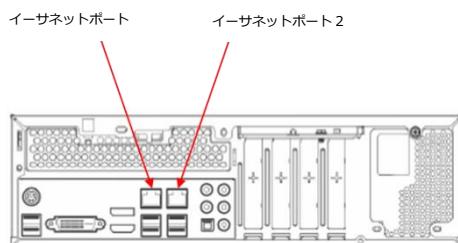
ホスト OS 用とゲスト OS 用に設定します。お客様の運用ネットワークに繋げる IP アドレスをご用意ください。

- WPV03 DVD インストール用メディア

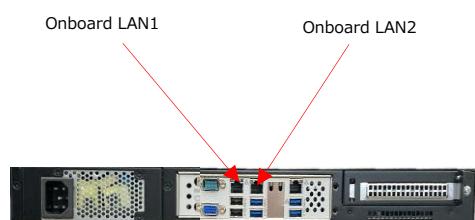
DVD の中に入っている「冗長化設定」フォルダは、冗長化オプションを利用するお客様のみ必要なものです。

PC をセットでお買い上げのお客様

- WPV03PC1（スリムデスクトップ型）および WPV03PC2（1U ラックマウント型）をお買い上げのお客様は、既に各ソフトウェアをインストールしているため、3 章のインストールは必要ありません。
- WPV03PC1（スリムデスクトップ型）および WPV03PC2（1U ラックマウント型）は、LAN ポートを 2 つ持っています。V-ONU の制御用には、イーサネットポートまたは Onboard LAN1 をご使用ください。



WPV03PC1



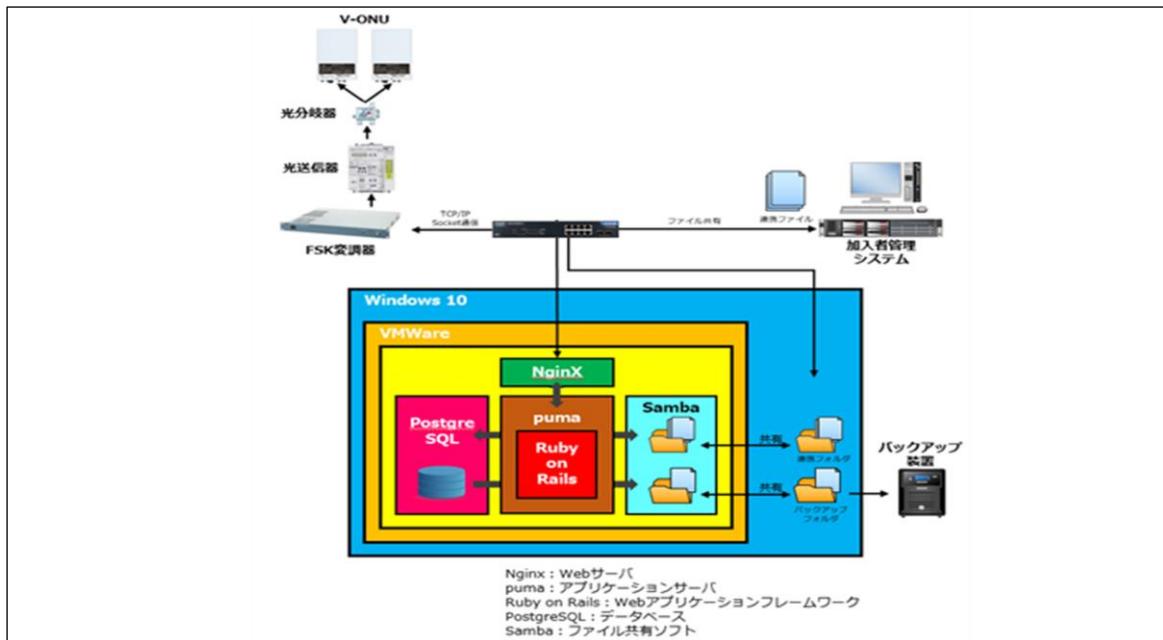
WPV03PC2

目次

| | |
|--|-----------|
| はじめに | 1 |
| 準備物 | 1 |
| PC をセットでお買い上げのお客様 | 1 |
| (1) 概要 | 3 |
| 1.1. PC 動作環境 | 3 |
| (2) Windows のセットアップ | 4 |
| 2.1. スリープモードの解除 | 4 |
| (3) インストール | 6 |
| 3.1. VMware 17 Workstation Pro のインストール | 6 |
| 3.1.1. VMware のダウンロード | 6 |
| 3.1.2. VMware のインストール | 6 |
| 3.2. WPV03 のインストール | 10 |
| 3.2.1. WPV03 ソフトのコピー | 10 |
| 3.2.2. ゲスト OS 保存場所の作成 | 11 |
| 3.2.3. WPV03 ソフトをゲスト OS 保存場所へ移動 | 12 |
| 3.2.4. ゲスト OS の起動 | 13 |
| 3.3. Google Chrome のインストール | 14 |
| (4) 環境設定 | 14 |
| 4.1. ホスト OS の IP アドレスの設定 | 14 |
| 4.2. ゲスト OS の IP アドレスの設定 | 15 |
| 4.3. 連携フォルダ、バックアップフォルダの確認 | 16 |
| 4.4. WindowsUpdate の無効化 | 17 |
| 4.5. アプリケーションの起動確認および設定 | 19 |

(1) 概要

WPV03 は、Windows OS のパソコンに投入した VMware 上にインストールします。



1.1. PC 動作環境

| 項目 | 仕様 |
|----------|---|
| コンピュータ本体 | 2.0GHz 以上のプロセッサ搭載パソコン(PC/AT 互換機) |
| 対応 OS | Windows 10(64bit 版)、Windows Server 2016 (64bit 版) |
| CPU | Core i3 5 世代以上 |
| RAM 容量 | 8GB 以上 |
| ストレージ容量 | 128GB 以上 |
| ディスク装置 | CD-ROM 再生可能ドライブ |
| LAN ポート | 10/100/1000Base-T 1 ポート |
| 対応ブラウザ | Google Chrome 76 以上 |

(2) Windows のセットアップ

2.1. スリープモードの解除

本ソフトウェアはポーリング制御を実施しており、データベースに登録されている全 V-ONU に対して、周期的に RF 出力制御情報を送信し続けます。そのため、Windows PC のスリープモードは解除してください。

(1) デスクトップ上で右クリックを押すとメニューが表示されますので、「ディスプレイ設定(D)」を押してください。



(2) ディスプレイの設定画面が表示されましたら、左のメニューバーにある「電源とスリープ」をクリックしてください。



(3) 「電源とスリープ」画面が表示されます。そのうち「次の時間が経過後、ディスプレイの電源を切る（バッテリー稼働時）」「次の時間が経過後、ディスプレイの電源を切る（電源に接続時）」「次の時間が経過後、PC をスリープ状態にする（バッテリー稼働時）」「次の時間が経過後、PC をスリープ状態にする（電源に接続時）」の全ての項目を、「なし」に設定してください。



※ 使用 PC によって、「電源とスリープ」画面の選択する項目数が 2 か所の場合があります。

(3) インストール

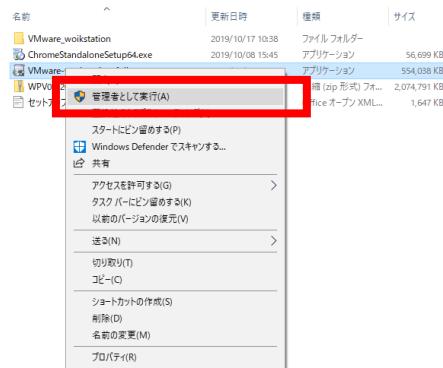
! 注意 インターネット接続環境で作業を実施します。Windows PC のイーサネットポートに LAN ケーブルを接続してください

3.1. VMware 17 Workstation Pro のインストール

3.1.1. VMware のダウンロード

DVDの中に入っている「VMware-workstation-full-17.6.3-24583834.exe」をPCのデスクトップ上に移動し、管理者として実行してください。

また、VMware のインストール中は、他のアプリケーションソフトを停止してください。

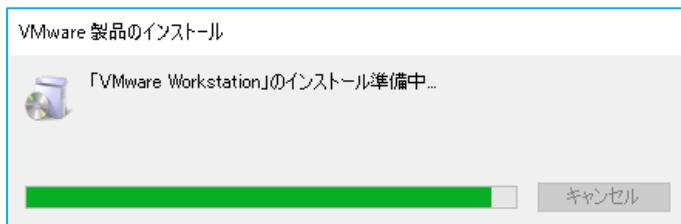


! 注意 本インストーラは、2025/10/03 現在、VMware Version : 17.6.3 のものです。サイトからのダウンロードはできません。必ず、DVDの中に入っているものを使用してください。

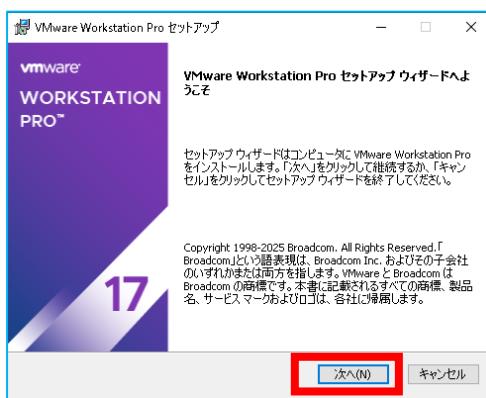
3.1.2. VMware のインストール

- (1) 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可します」ダイアログが表示されますので、「はい」をクリックすることで、インストール開始画面が表示されます。

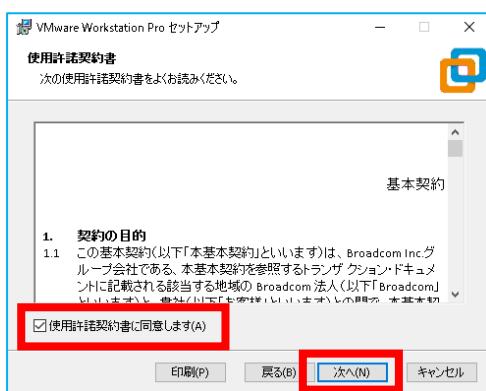
- (2) VMware のインストールを開始すると、「VMware Workstation」のインストール準備中のダイアログが表示されますので、そのままお待ちください。



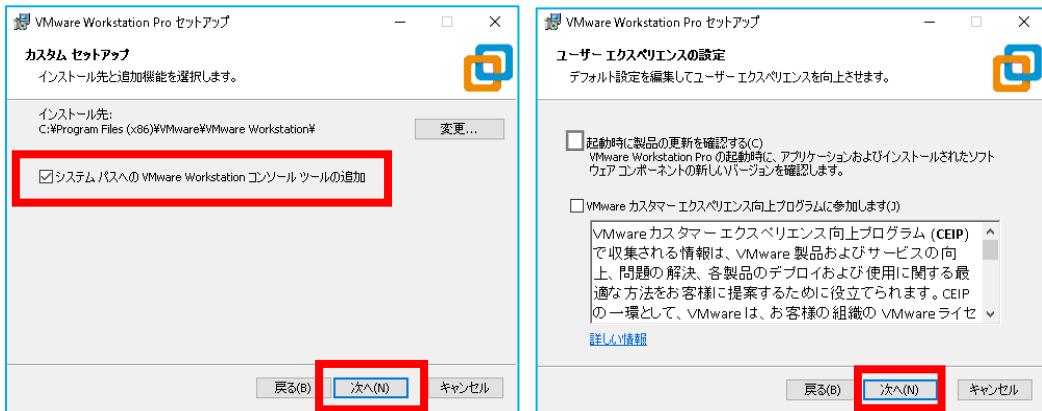
- (3) VMware のセットアップウィザードが表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



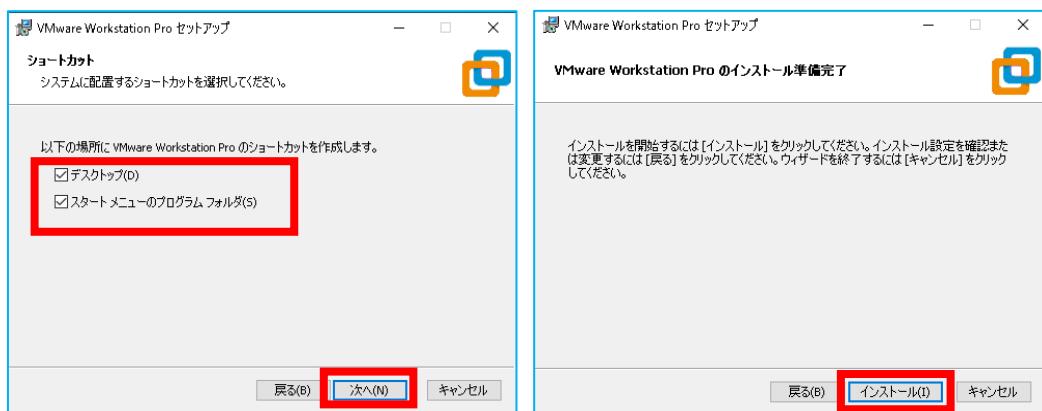
- (4) 「使用許諾契約書」を読み、「使用許諾契約書に同意します(A)」にチェックを入れ、「次へ」を押してください。



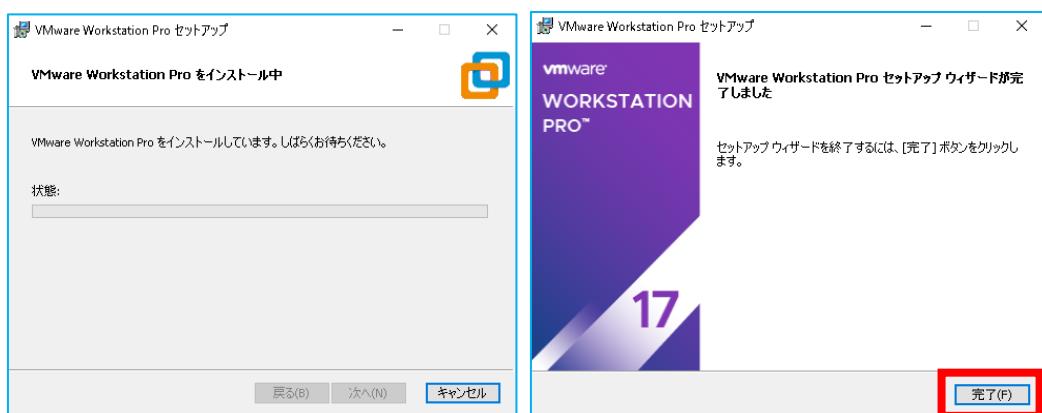
- (5) 「カスタム セットアップ」のダイアログが表示されますので、「システムパスへの VMware Workstation コンソールツールの追加」にチェックをいれて「次へ」をクリックしてください。
- (6) 「ユーザー エクスペリエンスの設定」が表示されますので、「次へ」をクリックしてください。



- (7) 「ショートカット」ダイアログが表示されますので、「次へ」をクリックしてください。
- (8) 「VMware Workstation Pro のインストール準備完了」が表示されますので、「インストール」をクリックしてください。



- (9) 「VMware Workstation Pro をインストール中」が表示されますので、しばらく待機し、「次へ」が押せるようになったらクリックしてください。
- (10) 「VMware Workstation Pro セットアップ ウィザードが完了しました」をクリックしてください。



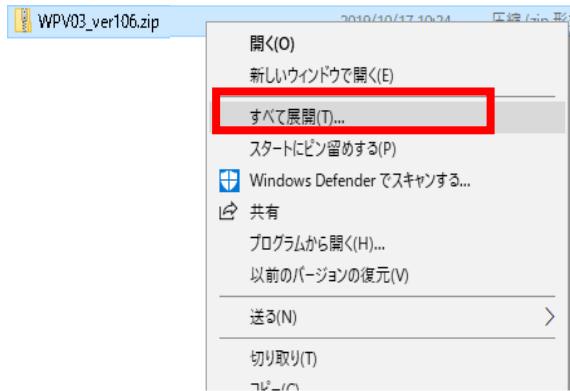
(11) 以上でインストールは完了です。デスクトップ上に「VMware Workstation Pro」が生成されたことを確認してください。



3.2. WPV03 のインストール

3.2.1. WPV03 ソフトのコピー

- (1) インストール用メディアから [WPV03_verXXX.zip] ファイルをデスクトップにコピーします。その後、コピーした [WPV03_verXXX.zip] ファイルを選択し、右クリックでメニューを開き、「すべて展開(T)」をクリックします。



- (2) 「展開先の選択とファイルの展開」ダイアログが生成されるので、そのまま「展開」をクリックします。

展開に 5 分ほど時間がかかりますので、そのままお待ちください。



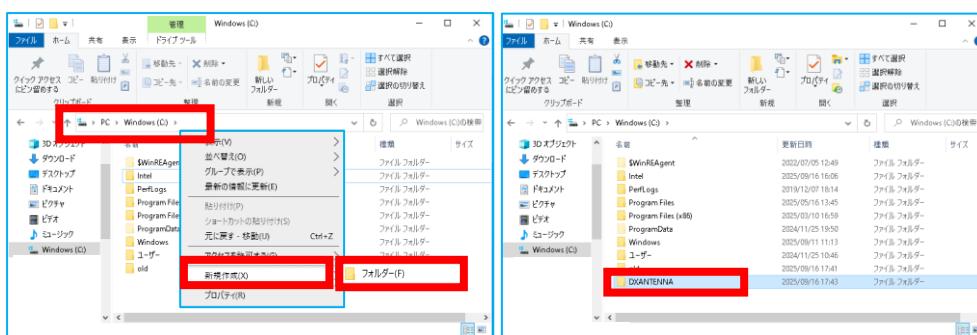
3.2.2. ゲスト OS 保存場所の作成

- (1) Windows マークを右クリックで「エクスプローラー(E)」を選択する。



- (2) C ドライブ配下で右クリックで「新規作成(X)」、「フォルダー(F)」を選択する。

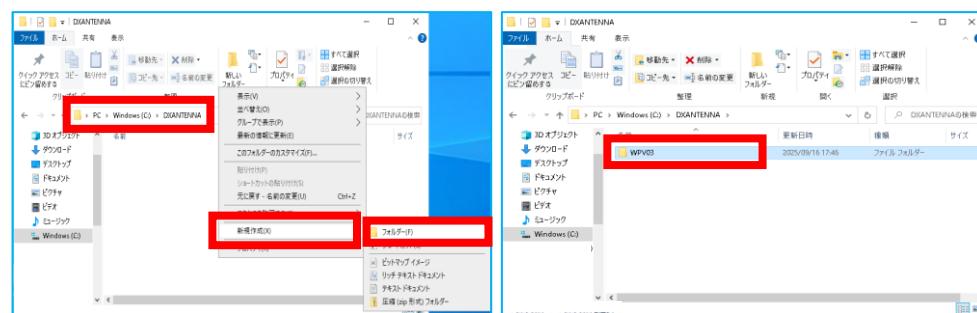
- (3) 「新しいフォルダー」の名前を「DXANTENNA」に修正する。



- (4) 「DXANTENNA」フォルダをダブルクリックして「DXANTENNA」フォルダ配下へ移動する。

右クリックで「新規作成(X)」、「フォルダー(F)」を選択する。

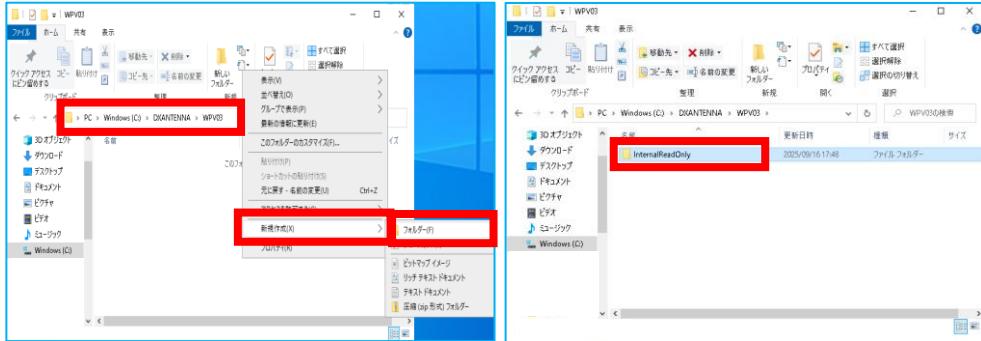
- (5) 「新しいフォルダー」の名前を「WPV03」に修正する。



(6) 「WPV03」フォルダをダブルクリックして「WPV03」フォルダ配下へ移動する。

右クリックで「新規作成(X)」、「フォルダー(F)」を選択する。

(7) 「新しいフォルダー」の名前を「InternalReadOnly」に修正する。

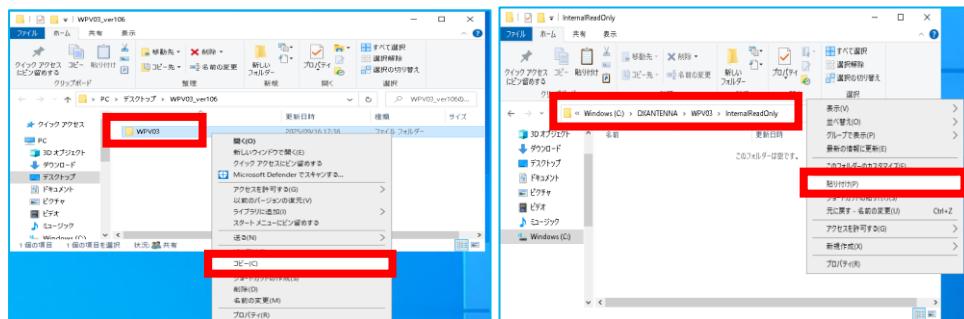


3.2.3. WPV03 ソフトをゲスト OS 保存場所へ移動

(1) WPV03 のフォルダを右クリックで「コピー(C)」を選択して WPV03 のソフトをコピーする。

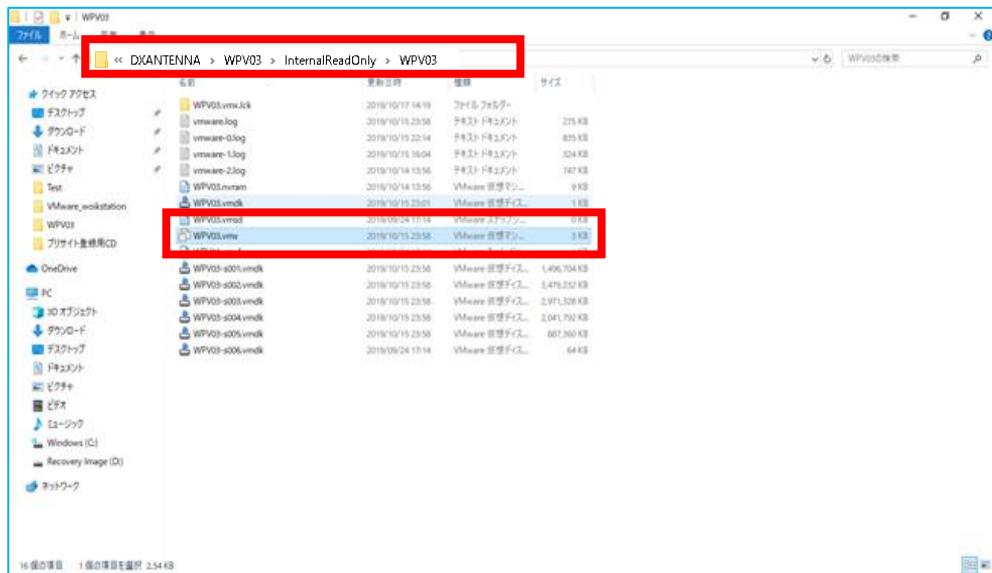
(2) 「InternalReadOnly」フォルダをダブルクリックして「InternalReadOnly」フォルダ配下へ移動する。

(3) 右クリックで「貼り付け(P)」を選択して、ゲスト OS 保存場所に貼り付ける。



3.2.4. ゲスト OS の起動

- (1) 「3.2.3. WPV03 ソフトをゲスト OS 保存場所へ移動」でコピーしたフォルダを開き、[WPV03.vmx] ファイルをダブルクリックします。



- (2) VMware が起動します。左側にライブラリメニューが表示されていなければ、[表示] - [カスタマイズ] - [ライブラリ] にチェックを入れると表示されます。



3.3. Google Chrome のインストール

- (1) DVD の中に入っている「ChromeStandaloneSetup64.exe」を PC のデスクトップ上に移動し、ダブルクリックします。
- (2) 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」が表示されたら、「はい」をクリックしてください。
- (3) 自動でインストールが完了するまで待機してください。

！注意 本インストーラは、2025/10/03 現在、Chrome Version : 77 のものです。本バージョンの機能に欠点がある場合、以下のサイトからダウンロードして、最新版の Chrome をインストールすることもできます。

<https://www.google.com/chrome/?standalone=1&platform=win64>

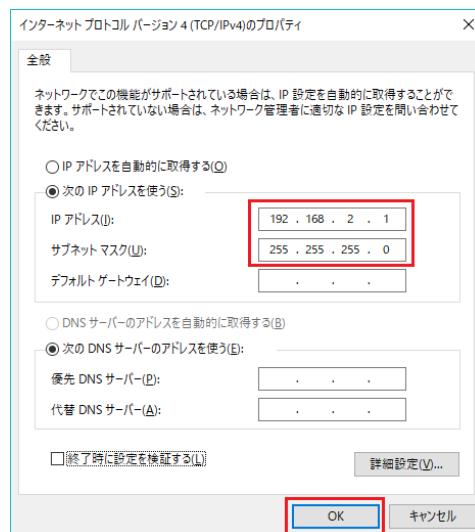
(4) 環境設定

！注意 お客様の運用ネットワークに繋げる IP アドレスを設定してください。本書記載の IP アドレスは仮として設定しています。

4.1. ホスト OS の IP アドレスの設定

Windows PC にホスト OS 用の IP アドレスを設定します。

＜入力例＞



4.2. ゲスト OS の IP アドレスの設定

！注意 コマンドに記載している”_”は、空白を意味します。

- (1) デスクトップ上の「VMware Workstation Pro」をダブルクリックします。
- (2) 「WPV03」をクリックし、「この仮想マシンをパワーオンする」をクリックします。



- (3) ゲスト OS にログインします。ユーザー : root、パスワード : dxadmin

```
WPV03 login: root
Password:
Last login: ~
```

- (4) 以下のコマンドを入力します。xxx.xxx.xxx.xxx の部分にはゲスト OS 用の IP アドレスが入ります。/xx はサブネットマスクのプレフィックスを入力します（例：255.255.255.0 の場合は/24）。

```
コマンド# nmcli c mod ens33 ipv4.method manual ipv4.addresses xxx.xxx.xxx.xxx/xx
コマンド# systemctl restart network
```

<入力例>

```
[root@WPV03 ~]# nmcli c mod ens33 ipv4.method manual ipv4.addresses 192.168.2.150/24
[root@WPV03 ~]# systemctl restart network
```

- (5) 正常に変更されたことを確認します。手順(4)で設定した IP アドレスが表示されれば設定完了です。

```
コマンド# ip a
```

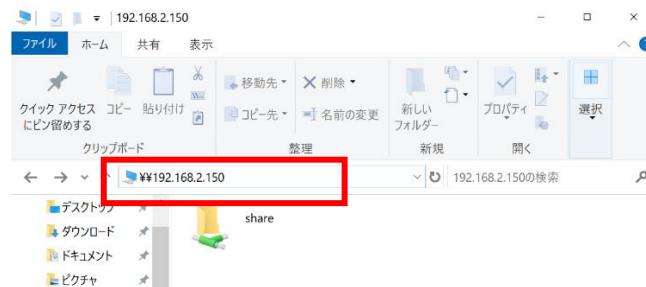
<入力例>

```
[root@WPV03 ~]# ip a
ens33: <BROADCAST,MULTICAST,UP,LOWER_UP> mtu 1500 qdisc pfifo_fast state UP group default qlen 1000
      Link/ether ~:~:~:~:~:~ brd ff:ff:ff:ff:ff:ff
      Inet 192.168.2.150/24 brd ~.~.~ scope global noprefixroute ens33
            Valid_lft forever preferred_lft forever
```

4.3. 連携フォルダ、バックアップフォルダの確認

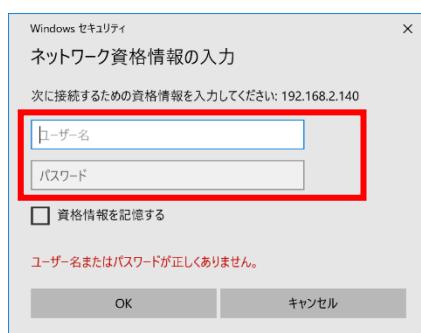
Windows のエクスプローラで ¥¥[ゲスト OS の IP] を開き、[share] フォルダが表示されることを確認します。

例：ゲスト OS の IP が 192.168.2.150 の場合



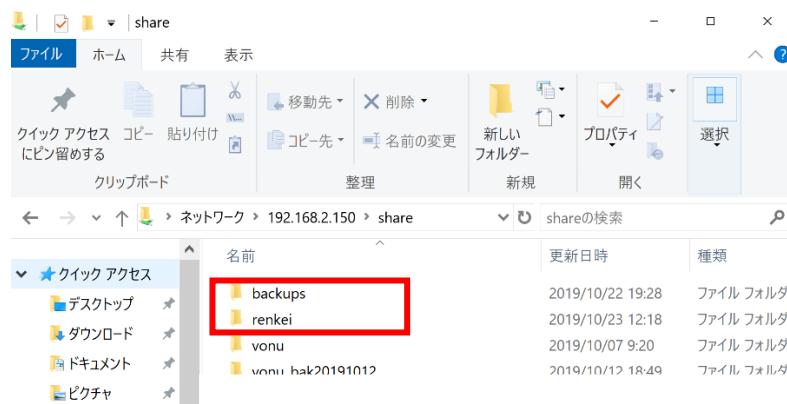
初期起動時にネットワークの資格情報の入力画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードはそれぞれ「admin」を入力してください。



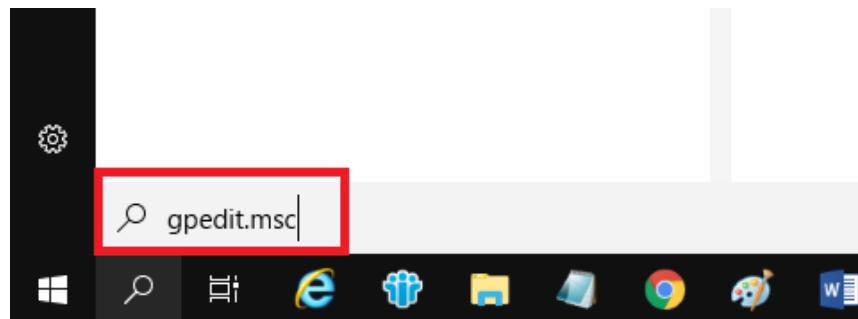
share フォルダを開き、表示されたフォルダ内にある backups フォルダと renkei フォルダにアクセスできるかを確認してください。

※WPV03 システム設定でフォルダ名を変更している場合は、それぞれ設定したフォルダ名で表示されます。またシステム設定で連携フォルダ、バックアップフォルダのパスを変更している場合、指定したパスにフォルダが生成されます。share フォルダにない場合はシステム設定でパスの指定先を確認してください。



4.4. WindowsUpdate の無効化

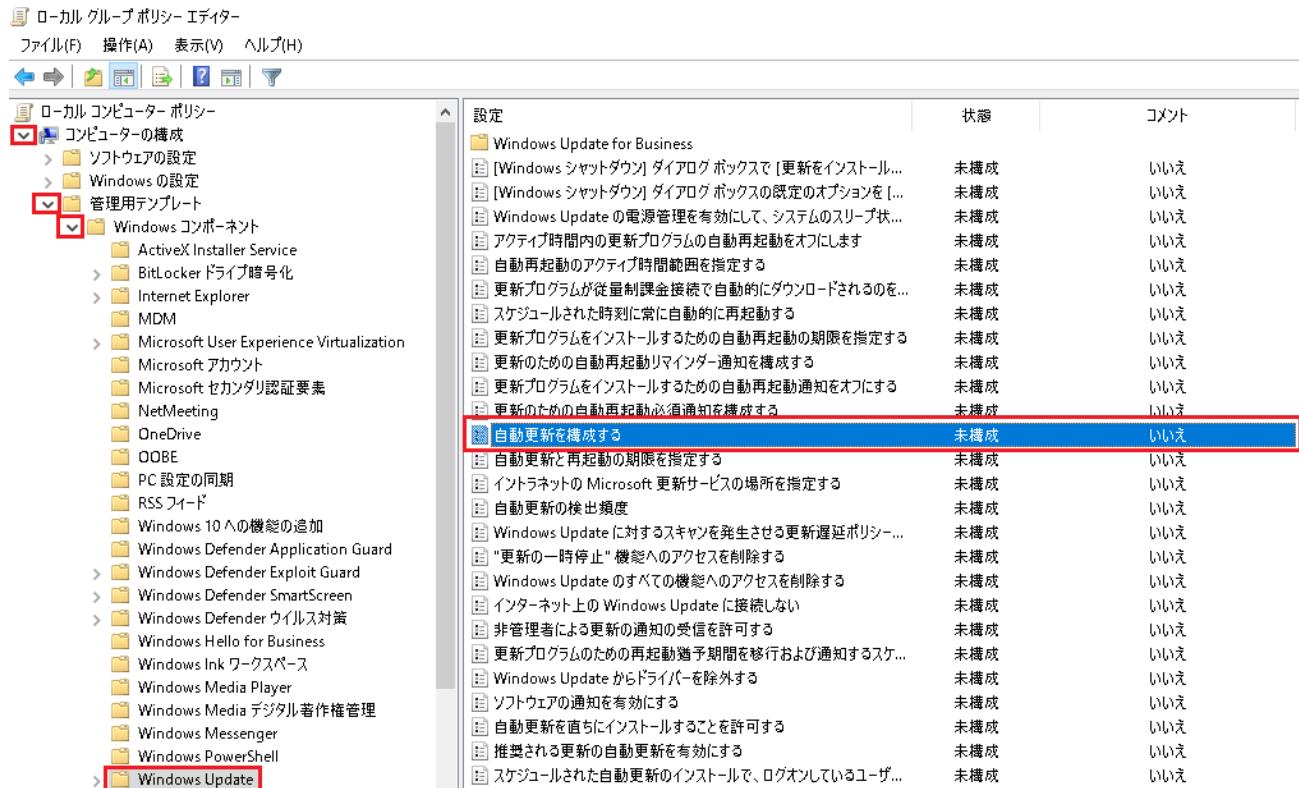
(1) 左下の検索欄に、[gpedit.msc]と入力し、エンターキーを押してください。



(2) ローカルセキュリティポリシー → コンピュータの構成 → 管理者用テンプレート

→ Windowsコンポーネント → WindowsUpdate の順番にクリックしてください。

(3) [自動更新を構成する]をダブルクリックしてください。



(4) [無効]のラジオボタンをクリックし、OKを押してください。



(5) Windows を再起動してください

4.5. アプリケーションの起動確認および設定

(1) Google Chrome で `http://[ゲスト OS の IP]:3000` を開きます。

<入力例> `http://192.168.2.150:3000`

(2) ログイン画面が表示されれば正常に起動されています。



図 3.3 ログイン画面

！注意 V-ONU 遠隔制御ソフトにアクセスするには、ホスト OS の IP アドレスを必ずリンクアップしてください（PC の LAN ポートが LAN ケーブルで別装置と接続され、IP アドレスが有効になっている状態）。

(3) システム管理者でログインします。

ユーザー : admin

パスワード : admin

(4) 【システム設定】画面より設定を行います。

お客様の環境に合わせて FSK 変調器の IP アドレス、ポート番号を設定します。

以下は変更する必要がある場合のみ行います。

- ・連携フォルダ
- ・ログ保存件数
- ・バックアップ先、バックアップ時間

！注意 連携フォルダ、バックアップ先フォルダは、`¥¥[ゲスト OS の IP]¥share` 配下フォルダに作成されます。何も設定しない場合は、`¥¥[ゲスト OS の IP]¥share` フォルダ直下になります。

加入者管理システムと連携する場合には、加入者管理システム側の連携先フォルダを変更をしてください。

カスタマーセンター  **0570-033-083** (1908)
※全国一律料金でご利用いただけます。
※携帯電話からもご利用いただけます。
※ナビダイヤルは各社音声通話定額サービスの対象外となっております。
DXアンテナ株式会社 ■ 受付時間 9:30~17:00 (夏季・年末年始休暇は除く)
■ 一部のIP電話で上記番号がご利用になれない場合: **050-3818-9016** | ホームページアドレス
6029-5 <https://www.dxantenna.co.jp/>